

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	06-01-12-09
事務事業名	三石財産区管理事業		
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目 基本目標	健全で自立したまちづくり	問 担当課(室) 財政課
	中項目 基本施策	簡素で効率的な行政運営	職・氏名 財産管理係長 芳田 猛
	小項目 施策	その他事務管理(財産管理)	電 話 0869-64-1811

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	三石財産区の保有財産及び区域内の住民
目 的 (何のために)	三石財産区の保有財産の適正な管理・運用
行政活動 (どのような方法で)	三石財産区の保有財産の草刈など維持管理の実施及び貸付による資産運用
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	三石財産区の良好な運営

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	土地貸付収入	千円	4,000	3,600	3,736	
	維持管理費	千円	1,249	1,240	1,161	
	草刈経費	円	1,142	1,167	738	
	草刈延人数	人	156	155	119	
	管理会開催日数	日	2	2	4	
	事業費	直接事業費	千円	1,714	1,710	1,668
		人件費	千円	805	785	982
		事業費計		2,519	2,495	2,650
		国 県 支 出 金				
財源	受 益 者 負 担 債	千円	4000	3600	3736	
	一 般 財 源		-1,481	-1,105	-1,086	
	必要人員	人	0.10	0.10	0.11	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	草刈延人数	説明				
	結果指標量	人	156	155	119	
	対前年比	%	-	99.4%	76.8%	
	活動コスト	円	1,142,000	1,167,000	738,000	
	単位当たりコスト	円	7,320	7,529	6,201	
結果指標	管理会開催日数	説明				
	結果指標量	日	2	2	4	
	対前年比	%	-	100.0%	200.0%	
	活動コスト	円	1,219,000	1,240,000	1,161,000	
単位当たりコスト	円	609,500	620,000	290,250		

事業の成果			
成果指標名	収支差額	式又は説明	歳入 - 歳出 0 (単位千円) (人件費を除く基金積立額)
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	2,286	1,892	2,069
対前年比		82.76%	109.36%
到達目標値	歳入 > 歳出	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>	B
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	財産区の保有財産の維持管理・処分を目的とした事業であり必要である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	
手 段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	B	
効率性の評価	職 場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A-E>
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識
		引続き歳入・歳出の健全な事業会計が維持できるよう努める必要がある。	

平成20年度の状況		<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明 財産区の保有財産の増減が無いため、貸付料や貸付先、財産の管理方法にも大きく変動はなく、従前と同様に事業継続している。
目標値	結果指標量 130		
	成果指標量	2,100	

総合評価		評価区分 <A-E> B	
財産の維持管理に経費が必要となるが、土地貸付収入でまかなえている状況であり、今後も継続するべき事業である。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果